

第3回 水の恵みの今昔・その光と影

座学 10/26 (土) 10:50-14:30
ツアー 10/27 (日) 9:10-16:20

視察スポット一覧

津島屋船溜り



▲ここではかつて川漁がさかんに行われ、50～60年以上前は阿賀野川の川魚を食べる食生活が当たり前でした。

環境と人間のふれあい館



▲新潟県が運営する公害資料館で、阿賀野川流域で今も続く新潟水俣病問題に関する展示などを見学できます。



▲阿賀野川から分流する小阿賀野川では、満願寺の小阿賀樋門を入ったすぐの地点で、秋の早朝に鮭のウライ漁が行われています(※阿賀野川漁業協同組合&新津鮭増殖組合が鮭を増殖するために毎年実施)。私たちが、このウライ漁で捕れた阿賀野川の恵みをいただきました。(※本来、イクラの取り出しは屋内で行う作業ですが、当日は見学しやすいようにご配慮いただき、特別に屋外で行っていただきました)

小阿賀野川の鮭ウライ漁



18日(10/26)座学

今回は、阿賀野川流域の恵みと公害！

阿賀野川漁業協同組合さん、新津鮭増殖組合さん、国土交通省北陸地方整備局の阿賀野川河川事務所さん、新潟市北区郷土博物館さんにもご協力いただきました。



▲午前は水の「ビュー福島潟」にて佐藤安男さんから福島潟をテーマに、午後は「環境と人間のふれあい館」で川漁と新潟水俣病をテーマに座学を行いました。



参加者の主な感想等

- 福島潟は自然保護だけでなく、活用などの取組もよくわかり、認識を新たにしました。(阿賀野市・70代)
- 水俣病など過去の犠牲によって現在の環境が保たれているのは、悲しい歴史である。(北区・60代)
- ウライ漁が身近にあるとは全く知らなかった。川の恵みをどう持続させるか、考えさせられた。(東区・40代)
- 福島潟を守っている人がいるからこそ、美しい自然を楽しむことができると実感しました。(東区・50代)
- 北区郷土博物館では、水びたしの大地で工夫し助け合ってきた人々の暮らしがわかった。(中央区・70代)
- ふれあい館で新潟水俣病を学べて良かった。身近に起きた公害なのによく知らなかった。(北区・60代)

28日(10/27)ツアー

新潟市北区郷土博物館



▲「阿賀北の大地と人々の暮らし」をテーマとした常設展示をガイドさんに案内してもらい、昔の潟の暮らしに欠かせない漁具、イタワセ(小舟)やキツツ(田舟)などを見て回りました。

福島潟



▲多様な生物の宝庫・自然豊かな湿地である福島潟を、佐藤安男さんなど水の駅「ビュー福島潟」のレンジャーガイドさんから案内してもらい、その巧みな解説を聞きながら新潟最大の潟湖を散策しました。



大型バス2台でめぐる！



2019 阿賀流域再発見・連続ツアー講座「阿賀野川ものがたり」

主催●新潟県 共催●新潟市 後援●五泉市・阿賀野市・阿賀町 協力●水の駅「ビュー福島潟」 企画・運営●一般社団法人 阿賀野川エコプロジェクト かがのがわ環境学舎

水との闘い 水の恵み

阿賀流域の今昔、光と影を
一年かけて学び尽くす
壮大な連続ツアー
講座はじまる！

阿賀野川の築堤工事(阿賀野市/大正後期～昭和初期/広田哲男氏提供)

第3回：水の恵みの今昔・その光と影

両日のべ

日時：令和元年10月26日(土)&27日(日) 142名参加

場所：環境と人間のふれあい館&水の駅「ビュー福島潟」

開催レポート！

※P2-3におけるクレジット表記のない写真のうち、10月26日(土)の写真は山口冬人氏(IPS公益社団法人日本写真家協会会員)が撮影、10月27日(日)の写真は片桐淳氏が撮影したものです。

阿賀流域の歴史や文化、光と影を流
壮大なスケールで学ぶ講座を展開
阿賀流域の歴史や文化、光と影を流
域の皆さんから学んでいただくため、
これまで毎年度開催されてきた地域
再発見講座を、今年度は阿賀流域再
発見・連続ツアー講座とスケールアッ
プさせ、年間テーマを決めて年3回計
6日にわたって開催しました。
今年度の年間テーマは「水との闘い・
水の恵み」。その第3回目となる「水の
恵みの今昔・その光と影」をテーマとし
た座学やツアーが、さる10月26日(土)・
27日(日)に開催され、2日間でのべ142
名の皆さんからご参加いただきました。
(※年間参加者は、のべ452名でした。)

※本連続ツアー講座はすでにすべての回が終了しています。

第1回 大河によって形成された大地

座学 7/6 (土) 10:50-14:30
ツアー 7/7 (日) 9:10-16:20



▲坂東亮氏提供 162名 ▲佐藤安男氏撮影

第2回 水びたしの大地との闘い

座学 9/7 (土) 10:50-14:30
ツアー 9/8 (日) 9:10-16:20



▲田辺修一郎氏提供 148名 ▲片桐淳氏撮影

第3回 水の恵みの今昔・その光と影

座学 10/26 (土) 10:50-14:30
ツアー 10/27 (日) 9:10-16:20



▲市村正氏提供 142名 ▲片桐淳氏撮影

福島潟のほりに立つ、2つの環境学習施設も協力！

今年度から、福島潟のほりに拠点をかまへ、阿賀野川流域の水環境などにも詳しい2つの施設が会場となって、知識と経験が豊富なスタッフがツアーガイドなども務めます。



県立環境と人間のふれあい館
-新潟水俣病資料館-



水の公園福島潟
水の駅「ビュー福島潟」



今回の豪華な粗食は、ケータリング！

今回の豪華な粗食は、目にも鮮やかなケータリングを提供する「watago FOOD & ETHICAL」さん(新潟市江南区 亀田)にお願いしました。流域の旬の食材をふんだんに使った、お弁当やケータリング形式のランチを、お楽しみいただきました！
▶旧笹神村出身の天野さん(左)&寺田さんのチーム(写真：watago FOOD & ETHICAL 提供)